

ダイナミックなバトルを詰め込んだデッサンの真髄を公開！

「躍動するスーパーデッサン アクション・空手編」

発売のご案内

4月20日(土)発売

株式会社ホビージャパン(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:松下大介)は、伝説的デッサン入門書『スーパーデッサン』シリーズの著者・鶴岡孝夫氏による、アクションを描くための懇切丁寧な技法書、「躍動するスーパーデッサン アクション・空手編 (ホビージャパンの技法書シリーズ)」を、4月20日(土)に発売いたします。

アクションを描くためのマンガ技法書決定版！

本書は風景や人物の描き方をやさしく楽しく解き明かした、伝説的デッサン入門書「スーパーデッサン」シリーズの著者・鶴岡孝夫氏による、アクションを描くための懇切丁寧な技法書です。ファン待望のダイナミックなバトルを詰め込んだデッサンの真髄を公開します。

●デッサン用「ウリウオ」人間を活用！

まずは鶴岡氏考案のデッサン用「ウリウオ」人間を紹介します。「ウリウオ」とは、ボディが瓜(ウリ)、手足の一部が魚(ウオ)の形をしたデッサン用の人型素体のことです。複雑な人体をごく簡単な形に置き換えて素早くアタリを取れば、アオリやフカンなどの極端なパースのある大胆なポーズも、自由自在にイメージしながらデッサンできます。

●基本動作は「走る」からスタート！ スポーツやアクションポーズへ展開！

人物が素早く体を動かすときの基本動作を「走る」動きと考え、連続動作やアングルを変えたポーズの描き方を解説します。「走る」シーンで描いた胴体や手足の形から激しい動きのポーズへ応用して描いていきましょう。そうすれば、ありとあらゆるスポーツシーンに応用することができます。

●アクションとバトルの基本は空手！ 大胆な動きのあるシーンに応用できるポーズは空手から！

著者の鶴岡氏は空手の剛柔流六段を有し、空手のさまざまな型に精通しています。格闘(バトル)シーンの多くはこの空手の型を応用することで、理にかなったカッコイイ動きを多角的に分析・解説できるのです。基本となる空手の型や組み手などのポーズを、リアルで美しいデッサンで紹介いたします。

●闘うシーンも「決め顔」のアップも情報満載！

男性女性のバトルシーンや緊張感あふれる表情をとらえるヒントとなる作例も多数収録。

※空手には多くの流派があり、ワザの形や名称にさまざまな差がある。本書は著者の経験に基づき、絵になる迫力のあるポーズを中心に解説。

第1章 人物を描く基本はスーパー「ウリウオ」

第2章 アクションポーズの基本は「走り」

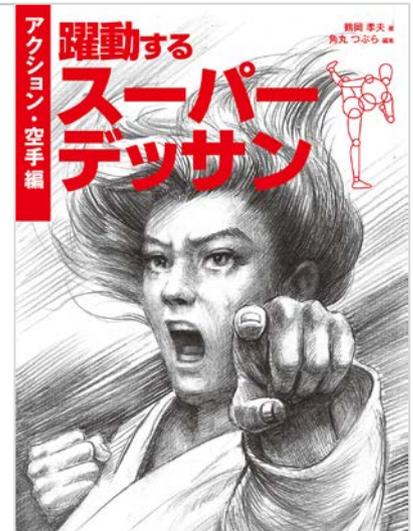
第3章 アクション・バトルシーンの基本は「空手」

第4章 空手の手ワザの基本

第5章 空手の足ワザの基本

第6章 空手の飛び蹴りワザの基本

第7章 空手などの「気合い顔」の基本



躍動するスーパーデッサン アクション・空手編

鶴岡孝夫 著、角丸つぶら 編

●定価/本体 2,100円+税 ●発売日/2019年4月20日 ●判型/B5ワイド判・平綴じ 184P

●ISBNコード/978-4-7986-1920-0 C2371

◆書籍ページ http://hobbyjapan.co.jp/manga_gihou/item/2331/

◆ホビージャパンの技法書 公式WEB http://hobbyjapan.co.jp/manga_gihou/

◆twitter https://twitter.com/manga_gihou

◆facebook <https://www.facebook.com/mangagihou>



※お問い合わせは下記まで

株式会社ホビージャパン 広報宣伝課 佐藤・会田・深堀・岡本

TEL. 03-5304-9115 FAX. 03-5304-9318 E-mail. pr@hobbyjapan.co.jp

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-15-8 URL: <http://hobbyjapan.co.jp/>

アクションに必要な素体に、もっと変化をつけてみよう

アクショントップ

アクショントップ

構図（ここでは右側）を少しあげ、腰に押し出すように線を入れ、左腕を上げてポーズ。

アクショントップ

アクショントップ

腰が入っているので、互の反対側だけ見えている。

アクショントップ

アクショントップ

構図（ここでは右側）を少しあげ、腰に押し出すように線を入れ、左腕を上げてポーズ。

アクショントップ

アクショントップ

腰が入っているので、互の反対側だけ見えている。

全速力で走るポーズ

全速力で走るポーズを強くコック

- 1 全身を前後姿勢にする。
- 2 両手は大きく振り、「ハ」の字、「ク」の字に曲げる。
- 3 脚（脚）は、前後姿勢から一方の足を「ク」の字に曲げ、一方の足を直線にして地面を蹴るようになる。
- 4 地面を強く蹴る。

躍動する「小走り」のポーズについて

増幅フォーム→正面

この作例はあまり速い走りではなく、小走り程度なので腕や脚の振り方が小さい。

さまざまなアングルの正拳の描き方

正面アオリ

1 正面を置いて3分の1のところに線を引く。

2 A, Bに割るとき、Bのほうの面積を狭く大きくする。

3 C, Dの部分を引く。F, Gを高く引く。Hを引く。

4 ナマメに腕を伸ばし、H, Eの曲線を引く。

5 Fの部分に○印をいれ、Fの部分に丸をつける。

6 各部分それぞれ引いて、陰影をつけて出来上がり。

側面アオリ

1 アタリの円と腕の線を引く。

2 (1) (2)の角の線を引いて腕の線を引く。

3 (1) (2)のそれぞれの腕の線を引いて。

4 腕のツメも入れ、アタリの円を消していく。

5 陰影をつけて出来上がり。

ナマメ側面

1 (1) 少し広い。

2 (2)の線を引く。人差し指にして、親指(3)を引く。

3 (4)と小指(5)を引く。

4 腕の付け根の関節、親指の爪とツメを引いて。

5 陰影をつけて出来上がり。

ナマメ背面

1 円を置いて中央にナマメ線を引く。親指も引いておく。

2 腕のように腕全体を引く。

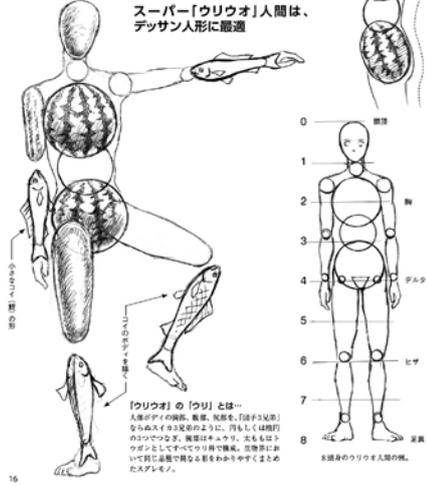
3 (1)のまわり「ハ」の字を4本引く。

4 腕の付け根の関節を引いて。

5 陰影をつけたら、出来上がり。

人体はスーパー「ウリとウオ」で考えよう

人体をスーパー「ウリウオ」と命名したのは、人の姿は「ウリとウオ」で手早く描けるからです。魚、鳥、獣、虫、大それたのはイカ、ネズミ、トワゴンなどウリの果実(野菜)としてシンプルに表します。人間の手足(腕脚と足本)は手首や足首に向かかって細いので、機械風に滑りて泳ぐのに適した魚(ウオ)にそっくりです。陸と海の生物の組みあわせによって、この新しい人体表現のウリウオが誕生しました。一見奇妙な組み合わせですが、実際に使ってみるとそのスーパーぶりが出てきていたのだと思います。



「ウリウオ」の「ウオ」とは... 人間は魚類から進化したと言われるが、まさに人の体でその手足は水の抵抗を最も弱にした魚類の魚(ウオ)に似ており、手足はウリを表現、魚に似た手足があるおかげで、人間は一種美しくなった。手足を魚の進化と見れば、わかりやすく早く描けるはず。



ちなみにデパートのコインランドにある有名な「人魚館」では、しつこい声の尾に尾ヒレが付いているので、「ウリウオ」も「ウリウオ」だと呼べるのでは!

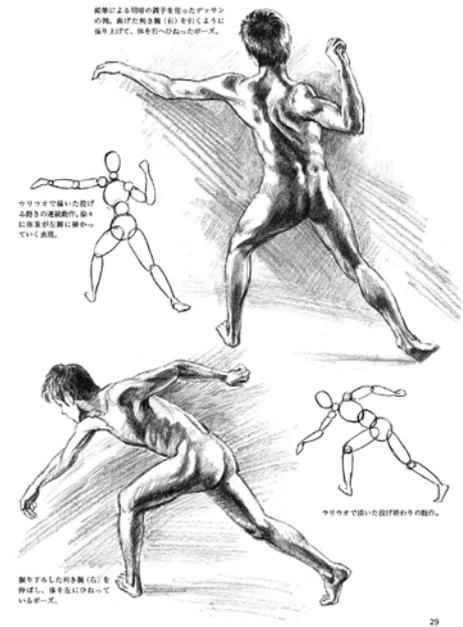
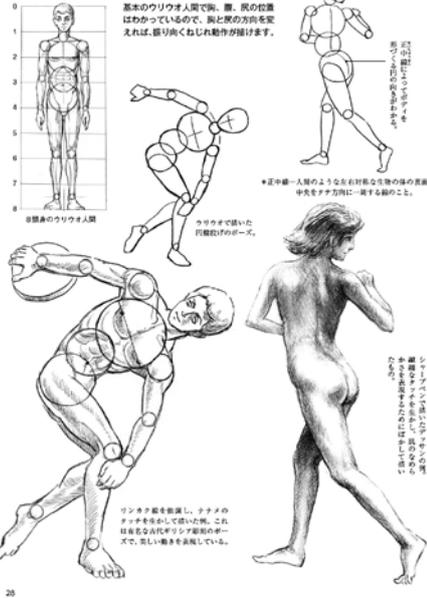


魚の尾ヒレは隠さっていたかも!



スーパー「ウリウオ」の「ウリ」は、魚の頭部を模したものです。

ウリウオを使って「ひねり」や「ねじれ」を描く



飛び足刀の連続動作の実例



上のウリウオを使って描いたキックの動きの例。5ページの商品はこの作例をよりアクションアップし、完成度を上げたもの。

基準となる「気合い顔」から表情をばらばらさせてみる



第7章 空手などの「気合い顔」の基本



上のウリウオを使って描いたキックの動きの例。5ページの商品はこの作例をよりアクションアップし、完成度を上げたもの。